

ご協力ありがとうございます！

(平成29年1月29日～2月28日、敬称略)

新入会: (株)ホットプロシード、浅野秀樹、扇清登

☆新入会募集中です！

寄付金: 三菱重工業(株)、福岡市立脇山小学校、福岡リパティライオンズクラブ、九州旅客鉄道労働組合、熊川工業(株)、(有)ゼナ八江農芸(株)、(株)十八銀行、(株)宇治川商店、(株)ゼンリン、西鉄不動産(株)

寄付品: 石井玲子、古賀知明、後藤麻与、泉利佳、新堀ヤスヨ、野原隆士

Cross Road ～情報交差点～

3月の予定

7日(火)研修生仙台へ出発、海外林プロジェクト視察
8日(水)研修生上京
11日(木)フレッド、コノール帰国
LOVE FM フェスティバル(福岡市役所前)
12日(金)パニャ、ソヘイン、ジョシ、レスカ、ヘリ、スヤ
ディ、マイク、インタン、マー、パサン帰国
13日(土)ザグダ帰国
19日(日)グリーンウェイブ植林活動
(朝倉市寺内ダム)



日田里山作業体験

2月2日(木)、日田市大鶴で15年にわたって里山の再生事業に取り組んでいる、吉田さんの活動現場へ行き、伐採した竹の運搬や枝の片付け作業に汗を流しました。オイスカ研修生がこの活動に参加してから8年が経過しますが、当時と比べても見違えるような里山が再生されており、4月の桜の季節にはまさに「桃源郷」のような景色を見る事ができます。研修生はそのきれいな景色を見る事ができませんが、吉田さんの里山再生にける思いと情熱をしっかりと

受け止める事ができました。
(豊田)



節分

もともと大阪近辺の風習だった“節分の太巻きのかぶりつき”が日本全国に浸透し“恵方巻”と呼ばれるようになったそうです。センターでも“恵方巻”をみんなで食べました。大きな口を開けて「黙って食べましょう」の指示に困りながら黙々と食べていました。日本の不思議な風習を、お腹一杯頂きました。“豆まき”も「鬼は～外～!!!」と手加減なしで投げていました。鬼さん痛かった～？今年も一年、みんなが元気に過ごせますように。(彦坂美保)



鬼木大明神の一句

何でもいい。陰、日向なく続けてみろ！
好、不調を問わず続けてみろ！さすれば自分自身、自信がつくし他の人から定評を頂ける。自分の器、形、色が出来上がる。



喝

体験農園便り

3月4日に平成29年度の春夏作の栽培がスタートします。当日は、ジャガイモとニンジンの種まき作業を予定していますが、昨年の秋ジャガは大雨と高温の影響で殆どの種イモが腐ってしまいました。ジャガイモ堀りを楽しみにしていた参加者の方には大ブーイングで、今年はどうなるかまだわかりませんが、異常気象が当たり前になっている環境に左右されることなく、沢山の収穫ができるように作業を進めていきたいと思います。今期は30組のスタートになりそうですが、まだ区画に余裕がありますので、関心のある方は是非ご参加頂けると嬉しいです。
(豊田)

→昨年3月の開始期の様子



まるごと!西日本



発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

第 643 号

平成 29 年 3 月号付録

E-mail: oisca@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



平成28年度 海外研修生研修修了式

昨年4月、春に来所、夏、秋、冬を日本で学び、そしてまた春が巡ってきました。2月25日に本年度研修生13名(7ヶ国1地域)の修了式を執り行いました。来日当初は、日本語はもちろんの事、日本での生活習慣、文化等も全く分からない研修生。約1年の月日を重ね、農業技術、オイスカスピリット、多くの方々との交流を学びました。修了式当日の彼らの目は、キラキラと光り輝き、帰国後の各自の夢に向かって進んでいくであろう力強さを感じました。式典には福岡県議会議長の中尾正幸様を始め、約200名の関係者の皆様にご臨席頂き、厳粛且つ感動、そして最後のふれあいを楽しんで頂きました。帰国後の彼らの挑戦、苦しいこと、つらいこともあるかと思いますが、一緒に学んだ同期研修生とご支援頂いた皆様の想いをしっかりと抱き、挫けず頑張ることでしょう。1年間、ご支援を頂きました皆様、本当にありがとうございました。(廣瀬)



1年間を振り返って・・・修了式での謝辞の一部を紹介



日本へ来る前に私は、少し日本語を勉強しました。日本へ来たとき、他の研修生のなかには全然日本語が分からない人もいました。英語が分かる人たちは、英語で話をします。私は、英語が良く分からないのでコミュニケーションがとてもむずかしかったです。お風呂とご飯も大変でした。お風呂は、他の人と一緒に入ることを聞いていましたが、やっぱり初めは信じられませんでした。ご飯は、箸を使うことが大変で、特にうどんを食べるときは、うどんがすぐに落ちてしまってなかなか食べることが出来ませんでした。ここでの研修は、とても大変で特に夏の暑い時の農業実習はインドネシアより大変でした。中でも鋤を使った作業が一番大変で腰が痛くなりました。でも、もっと大変だったことがまだありました。それは、冬の寒さです。初めての経験で収穫した野菜を水で洗う時は、私の手は真っ赤になりしもやけにもなりました。痛くて、かゆくてどうしたらいいかわかりませんでした。でも、どんな大変なときもみんなと一緒に冗談を言ったり、小さなことでも笑いあって楽しかったです。他にも小学校や保育園へ行ったり、センターに来た子供たちと一緒に野菜の収穫やダンスをしたりしました。保育園に行っておにぎりを一緒に作ったときに小さな子どもたちが、エプロンを付けたり、準備をしたり、おにぎりをつくったり一人ひとり自分でやっていました。インドネシアでは、小学校へ行ってもまだまだお母さんに甘える子どもが多いのでびっくりしました。日本の教育は、小さい時からしっかりしているのだなあと思いました。私は、叔父さんが経営する農業高校を卒業しました。本当は、農業が嫌いで農業高校に入るのは嫌でした。でも、家族の進めで入らなければいけませんでした。でもその学校で行ったオイスカスカブミセンターでの短期研修で農業の大切さと楽しさを知りました。そして、オイスカ活動にとっても興味を持ちました。そして、農業高校を卒業してスカブミセンターに行きました。そこで有機農業とオイスカのこともっと勉強することが出来ました。そして今回日本に来るチャンスももらいました。とても幸せなことです。国に帰ったら1年間スカブミセンターで研修生の指導をします。そしてその後、私が卒業した農業高校でスカブミセンターと西日本センターの両方で学んだ、農業技術や規律、そしてたくさんの経験を教えたいです。一年間ありがとうございました。(インドネシア研修生 レスカ)

㈱九電工様からのワンコイン寄付贈呈

2月9日、九電工の社員有志の方々よりワンコインチャリティーにご協力頂き、集まった寄付金1,226,000円の寄付を頂きました。当日は、同社より総務部長の恒松孝二様に来所頂き、海外研修生の育成事業へと寄付を贈呈していただきました。研修生からも帰国を控え、母国での活動予定の報告も踏まえ、懇親を行いました。九電工様には毎年多方面にわたるサポートを頂いております。社員の皆様、ありがとうございます。いつの日か研修生の母国へ訪れて、彼らの活躍を目にする機会を作ってくださいませ。(廣瀬)



We love オイスカゴルフコンペ

第8回 We love オイスカゴルフコンペが伊都ゴルフ倶楽部で行われました。今年は天候にも恵まれ、多くの会員企業の皆様にご参加をいただきました。プレー後の懇親会では研修生たちの帰国後のアクションプランの発表や楽器を使ったバンブーバンドの演奏をするなどして、参加された皆様方と懇親を深めていただきました。また各賞への協賛品として運営委員会各社はじめ会員より沢山のご提供もいただきました。この度のチャリティゴルフ益金は海外研修生の人材育成に充てさせていただきます。毎年のご支援ありがとうございます。(満川)



海外研修生の人材育成に充てさせていただきます。毎年のご支援ありがとうございます。(満川)

脇山小学校お別れ会

脇山小学校お別れ会が開かれました。脇山小学校の子ども達とは、4月の対面式、田植え、運動会、稲刈り、餅つきなど様々なイベントを一緒にしてきました。研修生が畑にいるのを見ると大きな声で挨拶をしてくれ、研修生はいつもパワーをもらいました。最後の交流となるお別れ会では1年間の思い出を振り返るなどしました。また、5年生の発案で竹炭を作りそれを地元で販売し、その売り上げの一部をオイスカの研修生の為に使ってください。と寄付して頂きました。地元の小学生が研修生のことを想って行動してくれていると思うと心が熱くなります。大切に使用させていただきます。脇山小学校の皆さん1年間ありがとうございました。(榮)



日本フィルハーモニー福岡公演

2/12(日)、アクロス福岡で行われた日本フィルハーモニー九州公演に「研修生たちに最高の音楽を聴いてもらいたい。」と、オイスカ会員の株式会社クリスター(ミネラル水)の岩本社長様のご厚意により研修生全員をご招待いただきました。普段からクラシック音楽を聴くような研修生もいないので、こんな貴重な機会も研修生がどれほど関心を持つのか少々心配でしたが、やはり音楽は世界共通、いいものはいいものだと思います。2時間の公演もあっという間で研修生も日頃のセンターでの生活では味わえない優雅な一時を味わうことが出来ました。ありがとうございました。(彦坂)



朝倉光陽高校交流会

2月1日、朝倉光陽高校に出向き、学生さんたちに納豆とパンの作り方を教えてもらいました。納豆は筑前クロダマルという黒大豆を使用し、真っ黒の珍しい納豆ができました。パン作りはアンパン、メロンパン、ロールパンの3種類を作り、焼き立てを頂きました。国に帰っても作りたいと特に女の子は喜んでいました。学生のみなさんありがとうございました。(榮)



佐賀推進協議会料理交流会

2月4日(土)に佐賀商エビルでミャンマーの料理交流会が行われました。センターから研修生のマーが講師として参加いたしました。たまたま基山町役場でインターン生をしていた法政大学のミャンマー人の学生さんにもお手伝い頂きました。途中、乾煎りした唐辛子がキッチン中に蔓延しみんなでむせるというハプニングもありましたが、モヒンガー(麺料理)、ワタチェ(豚肉のトマト炒め)、モンロ・イ・ポ(お団子)の3品のミャンマー料理ができました。なかなか日本にある材料で外国の料理を再現するのは難しく、今回のモヒンガーにはマーは不満でしたが、参加者の方には喜んで食べていただけました。食事後のミャンマーの国の紹介ではたくさんの質問が飛び交い、とても良い交流会ができました。またのご参加お待ちしております。(彦坂美保)



の紹介ではたくさんの質問が飛び交い、とても良い交流会ができました。またのご参加お待ちしております。(彦坂美保)

脇山校区ソフトボール交流大会参加

2月19日(日)すがすがしい青空の下、脇山校区主催のソフトボール交流大会に参加しました。昨年よりFBSで放送されてきた「頑張るキミに花束を！」の最終局面となるこの大会には、オイスカチームを含めて8チームが参加してトーナメント方式で行われました。オイスカチームの初戦は脇山自治協議会チームとの戦いで、何とか「9対7」で初勝利を手にする事ができました。2回戦目は大敗を喫し、3位決定戦では体育部チームと戦いましたが、途中まで善戦しましたが、結局「12対3」で惜しくも敗れてしまいました。結果は4位となりましたが、研修生は試合の最中にファインプレーを沢山見せてくれて会場は大いに盛り上がり、今まで練習してきた成果を存分に発揮する事が出来ました。今まで応援して頂いた皆さん、本当に有難うございました。(豊田)



雪遊び

2月28日、ソフトボール一勝のご褒美で天山へそり遊びに行ってきました。初めての雪山とそり遊びに大興奮。2時間みっちり遊び、最後に最高の思い出ができました。一勝おめでとう！(榮)



脇山地区お別れ会

2月19日、1年間大変お世話になった脇山地区のお別れ会がありました。脇山の水を飲み、脇山の米、野菜を食べ、脇山の空気を吸い、そして脇山の方々に支えられ1年間健康に幸せに過ごすことができました。お別れ会では思い出話をたくさんしていただきました。優しい優しい脇山の皆様、お世話になりました。(榮)



早良小学校交流会

今年度3回目となる早良小学校交流会は、早良小学校3年生の皆さんが話し合って計画して交流会をアレンジしてくれました。小学校館内紹介、ドッチビー、日本文化紹介、リコーダー演奏と盛りだくさんで、更に深い交流をすることができました。お別れが寂しく、車が見えなくなるまで手を振ってくれた生徒たちの姿は忘れられません。(榮)

